

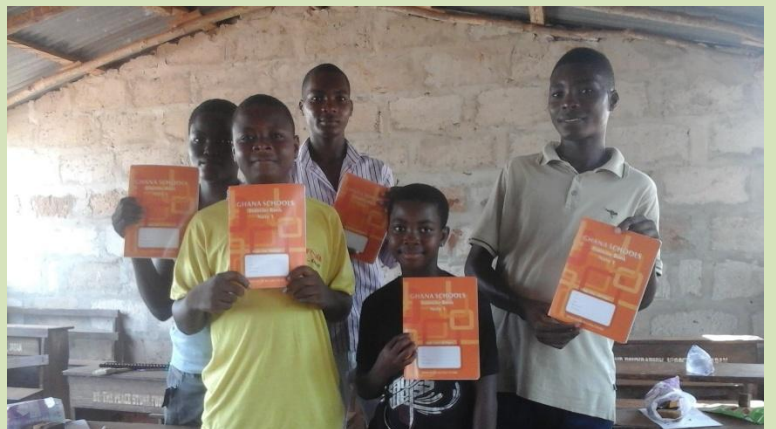
# ガーナでそろばんプロジェクト 59号(2017年 1月 20日)

★★ ご褒美の目標についてくるもの ★★

ガーナは、十二月頃よりサハラ砂漠の砂が貿易風でやってくるハマターンの季節となります。ハマターンになると教室の机は砂埃で真っ白になります。またハマターンの季節ともなると頭痛などの病気になる人も多くなります。この季節の話題は何と言ってもハマターンになります。そのハマターン、去年は十二月頭にやってきたのが、今年は少し遅く後半となりました。ハマターンにも負けずにそろばんの練習を子どもたちは頑張っています。前回、五十回の皆勤賞を受賞したコンスタンスの事を報告しましたが、今回もそのコンスタンスのことです。現在8級の練習プリントに取り組むコンスタンス。8級の練習プリントは、みとり算10問で1枚、10級9級のかけ算わり算プリントが1枚、8級のかけ算わり算プリントで1枚の計3枚1セットが1回分となり、5回分毎にご褒美が貰えるようになっていきます。十二月に入った時から、明らかにそれまでと違うなと思えるようになりました。それまでは、この1回分をやるのにも2時間以上費やしていたのですが、1時間もあれば3枚終わるようになったのです。またみとり算10問の正解率も8割とだいぶ良くなってきたのです。直しまで終わらせ、次の新しいプリントを手にするコンスタンスはとても嬉しそうです。ご褒美という目標もあるけれど、やはり計算が速くなってきた、分かるようになってきたという喜びもあつたことだと思ふのです。

十二月最後の教室開室日には、クリスマス会を行いました。おかげさまで、今年もささやかなクリスマス会を行うことが出来ました。

報告者 TOSHIKO



協賛

トモエそろばん様